



BRITA Japan 株式会社
2017年5月吉日

BRITA グループ、2016年の売上高が約553億4千万円を突破

技術と製品の刷新、国際的な拡大、明確な企業責任へのコミット
3本柱の戦略で成長と更なる飛躍を狙う

ドイツ生まれの家庭用浄水器メーカーBRITA Japan 株式会社(東京都中央区、代表者:マイケル・マギー)は、ドイツを本社とする BRITA グループの 2016 年の売上高が昨年の記録を上回り 4 億 6,900 万ユーロ(約 553 億 4,200 万円)を突破しましたので、お知らせいたします。

BRITA グループは、25 カ国の国内外に関連子会社、4 つの製造向上、5 大陸にまたがる 66 カ国の販売代理店を有しており、グループ全体で、前年度比 109%成長を遂げ、4 億 6,900 万ユーロ(約 553 億 4,200 万円)という売上高を達成いたしました。

個人向けの製品群においては、グループ売上高の 73%を占め、昨年比 109%の 3 億 4,300 万ユーロ(404 億 7 千 4 百万円)の売上に達しました。さらに、オフィス・学校・病院・レストラン向け浄水機器・サービス業・自動販売機ビジネス向けの業務用ビジネスでは、昨対比 127%の 1 億 2,600 万ユーロ(148 億 6 千 8 百万円)の売上に達いたしました。

①技術と製品の刷新②国際的な拡大③明確な企業責任へのコミットメントという主要な戦略上の 3 本柱が BRITA グループの成長を支えています。

■技術と製品の刷新

BRITA は売上高の 5%を研究開発に投資しており、ドイツの水ソムリエ専門家によって率いられる社内研究所で 100 人以上の従業員が研究分野に携わっております。2016 年には、BRITA の“イノベーションラボ”が、日本でも発売された携帯形浄水器「fill&go」などを含む 13 の新製品を市場に向けて開発し、高い利益をあげており、売上高増加の一つの要因です。

■国際的な拡大

BRITA は、新製品の開発だけでなく、国際的な事業拡大を通じて、業績を伸ばしております。BRITA は、2016 年新たにトルコに子会社を設立しました。トルコは世界的に見ても国民 1 人あたりのお茶の消費量が最も高く、BRITA のファンも獲得しやすい土地柄です。また、香港にはアジア統括本部を設置し、新たな事業展開を開始しております。アジア統括本部を設置することで、日本、台湾、中国での更なる成長を狙っております。さらに、ベネルクス諸国(ベルギー、オランダ、ルクセンブルク)で展開する高級浄水機器メーカーを買収、従業員約 200 人を追加採用するなど、事業拡大により一層力を入れており、国際的な拡大を通してグループ全体が発展を遂げております。

■BRITA の企業文化としての CR(企業責任)とサステナビリティ

BRITA グループは、世界の最も貴重な資源の一つは何であるかに日々焦点を当てることが使命だと考えるとともに、サステナビリティに対する責任を重要視。環境や自然保護に目を向けた事業を展開しています。BRITA の調査では、ペットボトル入りの水を 3 つの BRITA 製品に切り替えるだけで、少なくとも中型車 130,000 台分の年間排出量にあたる約 250,000 トンの二酸化炭素を減らせることがわかっています。BRITA は、こうした環境保護の観点からも、サステナブルな自社製品とともに、水道水の飲用習慣を提案しています。

世界中で広く親しまれる BRITA の浄水器を、更に広め、人々の水分補給を美味しくエコにするミッションを達成することを目指し、BRITA は更なる挑戦を重ねていきます。

【BRITA について】

ブリタは、1966 年ドイツで誕生。
現在では、17 の子会社、40 のパートナーシップのもと、
世界 60 カ国以上で広く親しまれている浄水器のリーディングブランドです。
欧州では家庭用浄水器だけでなく、
業務用ろ過システムの開発、製造、販売も展開しています。

会 社 名： BRITA Japan 株式会社 (ブリタ・ジャパン株式会社)
本 社： 東京都中央区銀座 3-15-10 菱進銀座イーストミラービル 7F
ウェブサイト： www.brita.co.jp

